

4. 一時避難を含む避難所運営の基本的な考え方

(1) 要支援者等配慮した運営、他ルール (2) 感染症対策

1. 要支援者に配慮した運営

- 食事や物資の配給、情報提供方法やトイレの利用など、高齢者や障がいのある人、乳幼児、妊婦など要支援者への配慮。
- プライバシーの確保と同時に孤立化を防ぐ為の見守りと配慮。
- 要支援者自身が「要支援者」であることがわかるよう示す配慮。
- 要支援者に配慮した避難スペースの確保(避難者と受け入れ場所を分ける。)
- 要支援者への情報伝達、視覚・聴覚障がい者等、情報の取得が困難である人への確実な情報伝達に努める。
- 平塚市避難行動要支援者支援制度を活用して避難漏れがないか配慮。

災害時要支援者とは

- 高齢者：迅速に避難することが困難な人
- 障がいのある人：視覚 聴覚 肢体 精神 知的 内部等の障がいのある人
- 在宅療養者：透析が必要な人、糖尿・高血圧などの疾患をもつ人
- 乳幼児・妊婦：乳幼児を連れて迅速に逃げるのが困難な人
- 外国人：言葉が通じないことが想定される人

2. 男女共同参画の視点に配慮した運営

- 男女それぞれのニーズの違いに配慮した安全・安心・快適な空間を作り、女性をはじめ性的マイノリティ(LGBT)等、被災者の方が少しでも心地よく過ごせるよう心掛ける。

3. 犬や猫のペットと同行避難した場合の対応

- 同行避難を推進することは人への危害防止等の観点からも必要な措置となります。同行避難した場合、ゲージに入ったペットのみ受け入れます。ただしペットと避難者は同居生活ができません。決められたペット避難スペースにて管理してください。又、排せつ処理や退所時は飼い主が責任を持って清掃を行ってください。

4. 避難スペースでのルール

- 一時避難の場合など、原則、水・食料やその他必要なものは各自で、持参ください。
- 各自で出したゴミは施設内で捨てず各自持ち帰ってください。

1. 基本的な感染対策の確認

- 密接・密集・密閉(3つの密)を避けるよう配慮する。
- 従事する職員の体調確認をする。
- 体調不良者の避難スペースを確認する。
- マスク、消毒液、非接触型温度計等、備蓄品を確認する。

2. 避難者の受け入れ

- 〈1〉避難者が来場した際は、屋内の入り口付近で体温測定を行う。
★37℃以上の場合、熱があるのかを聞き取り、避難スペースの分離を判断する。
 - ①非接触型温度計を避難者の額から1～5cm程度離し測定する。
 - ②平熱(日常比1℃未満の熱)と判断できる方は〈2〉へ
 - ③微熱や高熱の方は、健常者と避難スペースを分離する。
感染症の心配がある場合は、避難者自らかかりつけの病院又は新型コロナウイルス感染症専用ダイヤル(24H対応0570-056774)(つながらない場合045-285-0536)へ連絡し、症状や今後の対応について相談する。
- 〈2〉避難者を受け入れる際【体調確認用】避難者カードを使用し避難者の情報と体調について確認する。(避難者が使用した鉛筆等は感染拡大防止の観点から使い回しはしない。)
- 〈3〉体調不良者が見つかった場合は、健常者と避難スペースを分離する。
〈1〉③と同様とする。

3. 感染症拡大防止のためのお願い(避難スペースの注意点)

- 〈1〉滞在中はマスクを着用し、避難スペースに入る際は手指消毒をする。(未就学児のマスク着用については、基本的な対策を取った上で、個々の状況に応じて同伴者が判断する。)
- 〈2〉避難スペースでは、世帯毎に3m四方の囲みを目安とした身体的距離を取って他の避難者との接触を避ける。
- 〈3〉食事の前やトイレの後など、こまめに手洗いをする。
- 〈4〉咳やくしゃみをする際はティッシュやハンカチなどで口と鼻を押さえる又は上着の内側や袖で覆うなどして咳エチケットを守る。
- 〈5〉マスクや各自で出したゴミは必ず持ち帰る。
- 〈6〉滞在中に体調が悪くなった場合は避難所配備職員へ相談する。
- 〈7〉可能な範囲で避難所の換気を行う。

土砂災害 ハザードマップ

凡 例

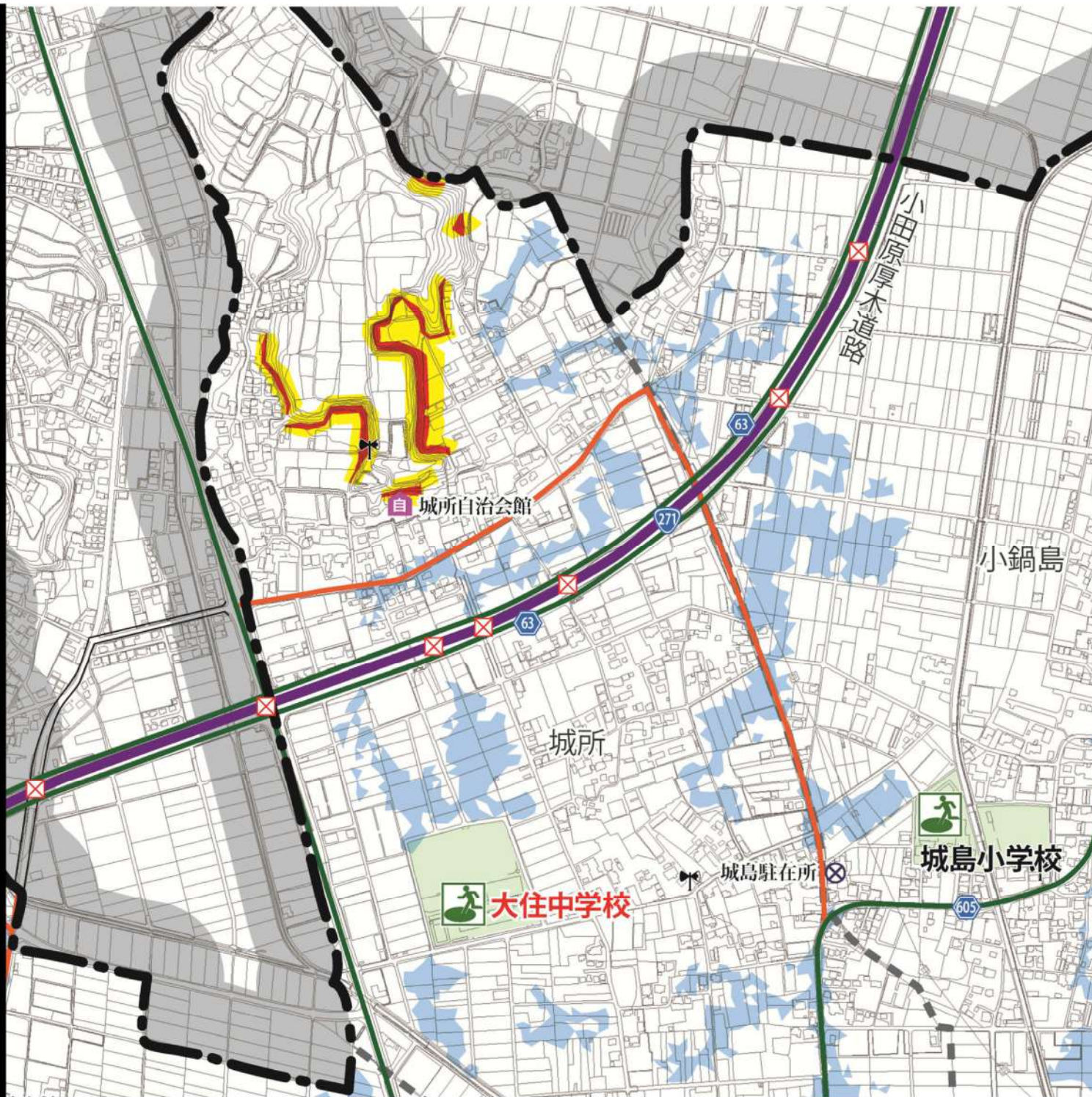
- 指定緊急避難場所
- 公民館
- 消防署・出張所
- 交番・駐在所
- 自治会館等
- 公共施設
- 公園等
- 国道 県道
- 市道(幹道)
- 防災行政無線
- 一時避難場所(協定締結先)
- 避難時危険箇所(地下道)

土砂災害(特別)警戒区域

- 急傾斜地
- 土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)
- 土砂災害警戒区域(イエローゾーン)
- 土石流
- 土砂が流れるおおまかな方向
- 土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)
- 土砂災害警戒区域(イエローゾーン)
- 溪流名

雨水による浸水

- 浸水想定区域
- 市全域に1時間50ミリ程度の大雨が降った際に浸水が予想される区域



データ放送 (dボタン) を使った情報収集

NHK 総合テレビ
【チャンネル1】
など

テレビの防災情報の見方
チャンネルを選び、
『dボタン』を押す
(今回の例はNHK)



地域の防災・生活情報を
選択し、【決定】を押す



調べたい情報を選択し、
【決定】ボタンを押す

確認できる情報

- 警報・注意報の発表状況
 - 台風の予想進路や気象情報
 - 避難情報の発令状況
 - 避難所開設情報
 - 河川水位情報
- 等

